

◎ふみの日について

日本郵政公社では「手紙の良さ、楽しさ」を多くのみなさまに知っていただくことを目的として、毎月23日を「ふみの日」としています。  
昭和54(1979)年から全国的に展開されており、その一環として、毎年、文月(ふみづき)である7月に「ふみの日」にちなむ郵便切手を発行しています。

◎デザイン

我が国の代表的な古典歌集である百人一首を題材とし、江戸時代の歌がるた「光琳かるた(通称)」の絵柄を基にデザインしています。  
春(紀貫之)、夏(持統天皇)、秋(猿丸大夫)、冬(源兼昌)、恋(二条院讃岐)の歌を取り上げました。余白部分には、現代仮名づかいによる歌、また歌人の名前を記しています。

【紀貫之(梅)】

歌人、随筆家。三十六歌仙の一人です。日本で最初の仮名文字日記とされる「土佐日記」の作者です。

【持統天皇(天の香具山)】

天智天皇の娘で、第41代天皇です。万葉集にも歌を残しています。

【猿丸大夫(鳴く鹿)】

三十六歌仙の一人で、伝承上の人物とも言われています。

【源兼昌(千鳥)】

内大臣藤原忠通家歌合などでも活躍した歌人です。

【二条院讃岐(沖の石)】

女流歌人で、女房三十六歌仙の一人です。

◎ふみの日にちなむ郵便切手 特殊通信日付印

使用局:

- (A) 定例局
- (B) 札幌、仙台、横浜、東京、長野、名古屋、大阪、岡山、福岡の各中央郵便局

使用日:

- (A) 平成19年7月23日(月)~7月29日(日)
- (B) 平成19年7月23日(月)のみ



(A) 手押し用



(B) 記念押印機用

ふみの日にちなむ郵便切手

50円切手(10枚/シート)

Letter-Writing Day



発行日:平成19(2007)年7月23日(月)

<http://www.kitte-design.net/>

ふみの日にちなむ郵便切手

50円郵便切手 (10枚/シート)

Letter-Writing Day



種類:

50円郵便切手 ※1シート10枚/1枚から販売します。

意匠:

[1]紀貫之 [2]持統天皇 [3]猿丸大夫 [4]源兼昌 [5]二条院讃岐

発行日:

平成19(2007)年7月23日(月)

版式刷色:

グラビア6色

小切れ・印面寸法:

縦30.0mm×横25.5mm

シート寸法:

縦175.0mm×横76.5mm

助言・監修等:

【歌の選定】浅田 徹氏

(お茶の水女子大学文教育学部言語文化学科 准教授)

【かな文字監修】三宅 相舟氏

(書家、東洋大学文学部教授、大東文化大学書道研究所 兼任研究員)

デザイン:

貝淵 純子(切手デザイナー)